

子宮頸がん検診で「要精密検査」となった方へ

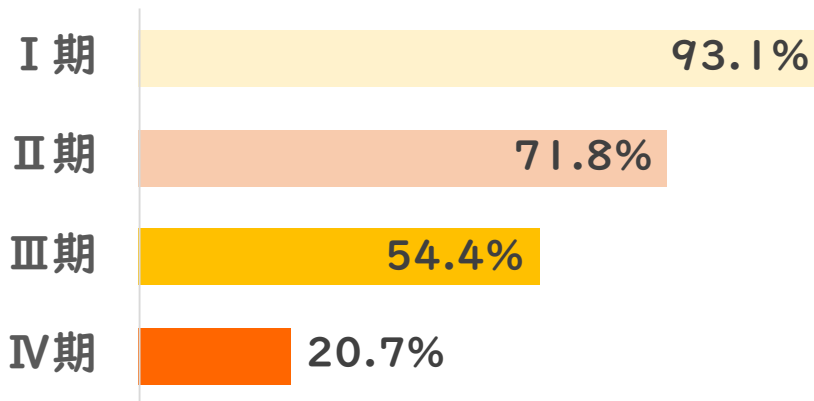
子宮頸がんの多くは自覚症状がありませんので、「要精密検査」と判定された場合には必ず精密検査を受けてください。

精密検査を受けないと、がん検診の効果はなくなってしまいます。

早期発見
早期治療で
9割以上
が治ります



子宮頸がん10年相対生存率



【子宮頸がんの精密検査】

- ・「コルポスコーピー（膣拡大鏡診）」、「組織検査」、「ヒトパピローマウイルス検査」などがあります。医療機関により内容が異なる場合があります。
- ・要精密検査となった方の中で、がんが発見される確率は約2%、前がん病変（CIN以上）が発見される確率は約30%※です。前がん病変のうちに見・対処できれば、治療による体への負担やかかる時間、費用も少なくて済みます。 ※厚生労働省「平成27年度地域保健・健康増進事業報告」

<精密検査の際には以下のものを忘れずにご持参ください>

- ・ 子宮頸がん検診結果通知書
- ・ 子宮頸がん精密検査依頼書（あれば）
- ・ 健康保険証

